

# 『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』紹介

## —多様な形式による練習問題の提示—

岩崎 陽子・古賀 裕基

キーワード：初級漢字，概念，文脈，音声，産出

### 1. はじめに

筆者らは2015年6月に『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』（以下、「ワークブック」）を刊行した。このワークブックは、『ストーリーで覚える漢字 300』（以下、「メイン教材」）に準拠した練習問題集である。漢字の練習問題というと、従来から国語教育で使用するドリルに見られるような「書き練習」「読み練習」の反復問題が多く、単調になりがちである。しかし、漢字学習には多様なアプローチが可能だと筆者らは考え、漢字を概念で整理する問題や、音声聞いて正しい表記を選ぶ問題、漢字語を用いて自分のことを表現する問題など、さまざまな練習問題を作成した。加えて、日本語能力試験対策の練習問題も用意した。本稿では、「ワークブック」の位置づけ、特徴、練習問題の例、そして、それぞれの練習問題のねらいを具体的に紹介したい。本教材が広く使われることで、漢字教育の一助となれば幸いである。

### 2. 『ストーリーで覚える漢字 300』の概要と「ワークブック」の位置づけ

#### 2-1. 「メイン教材」から「ワークブック」へ

「メイン教材」は、ボイクマン総子、本稿筆者の一人である岩崎（渡辺）陽子、その他が、初級漢字 300 字<sup>1)</sup>を「楽に楽しく学ぶ」という理念に基づいて2008年に出版した。その理念の実現のために、300の漢字をかわいらしいイラストと、その字形の成り立ちを説明するストーリーで導入し、漢字一つひとつの概念（中心義）の定着を図っている。ストーリーは、分かりやすいものなら、漢字の字源に基づくものを使用し、そうでない場合は、オリジナルのストーリーをあてた<sup>2)</sup>。

例えば、図1にあるように、「土」の漢字の場合は、上の「十」の部分の十字架に見立てて、「十字架を立てるのは土（soil）の上です」と説明している。太字部分が、漢字の中心義である。次に出てくる「王」は、既出の「十」の説明を利用しながら、土の上に王様が乗っているイラストを提示し、「土地を支配するのは王（king）です。」と説明した。できるだけ学習者にとって理解しやすいようにと、ストーリーの本文は英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の対訳を用意した。その後、アジアの学習者を対象に、英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語の4か国語を載せた版も刊行した。

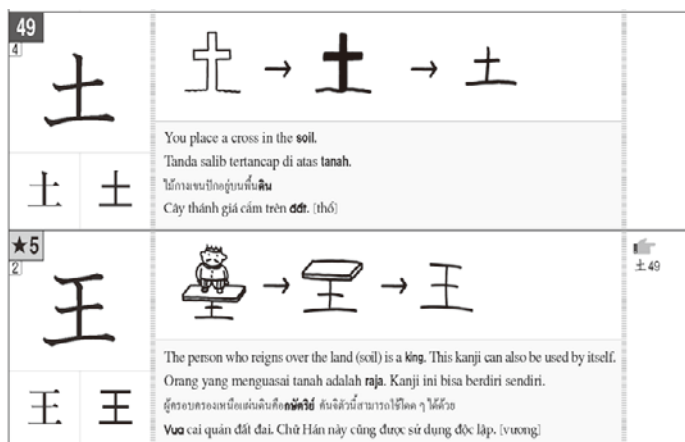


図1 「メイン教材」におけるイラストとストーリーによる漢字の提示  
 (『ストーリーで覚える漢字300 [英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版]』p.14)

「メイン教材」には練習問題が用意されているが、単漢字の意味の確認問題や二字、三字の漢字語の意味を類推する問題が多い。たとえば「火」「山」を習う回では、「火山」の意味を類推し、4つの選択肢の中から「volcano」の意味を選ぶ問題がある。「メイン教材」では、あくまでも、単漢字の字形と中心義に慣れ親しむこと、そして単漢字から語や文の意味を類推することに重きを置いている。そのため、練習問題は短文の中での練習にとどまり、まとまりのある文章・会話は扱っていない。また、意味の類推ができれば、決して音声化しなくても（読めなくても）よいとしている問題もある。しかし、漢字の意味理解や記憶を促すだけでは、漢字（語）の実際の使用には結びつくとは言えないだろう。漢字（語）の実際の使用を見据えたとき、さらなる段階として、さまざまな学習のアプローチも提案しなければならないと考えた。

そこで岩崎・古賀による「ワークブック」では、多様な練習問題を提出した。漢字を概念別に整理する問題や、音声を聞いて正しい表記を選ぶ問題、漢字語を用いて自分のことを表現する問題などである。練習問題の後半では、意識的にまとまりのある文章を多く提出した。「ワークブック」全体を通してキャラクターを登場させ、それぞれの生活や人物間のやり取りがイメージできるような文脈情報も多く提示した。具体的な特徴と対象については次節以降で述べる。

## 2-2. 「ワークブック」の特徴

「ワークブック」の特徴として、主に以下の5点が挙げられる。

### ①漢字（語）の概念を活用

「メイン教材」に引き続き、漢字（語）の概念を活用した問題である。無数にある漢字（語）を、曜日、体の部位、自然に関する語、などの概念のグループで整理することで、まとまりのある形で漢字を学習することができる。

### ②キャラクターの文脈のなかで学ぶ

全体を通して、約10人のキャラクターが登場する。日本の大学に留学しているトムか

らは、外国人留学生からの視点が描かれる。また、トムの日本人の友人の父親が務める職場の人間関係も描かれている。それによって、ビジネスの場面や、就労または国際結婚により日本に移住した女性の生活なども描くことができた。登場人物間の会話や一人ひとりの心の声、日記等に多くの漢字（語）が出てくるため、文脈の中での語の使用を学ぶことができる。

#### ③漢字と音声との一致を図る

多様な練習問題には、聴解を取り入れた問題もある。内容は、主にキャラクターによる会話や独話である。実際の音声と正しい表記を選ぶことで、音と表記の正確なマッチングを図る。同時に、漢字を発音する際の助けとなることも期待される。ほかの漢字教材にはあまり見られない本教材のユニークな特徴のひとつである。

#### ④自分のことを書き表す

読解や聴解だけでは、学習が受け身で終わってしまうため、まとめ問題には産出問題を用意した。学んだ漢字（語）を用いて、学習者が自分のことを表現する機会を持てる。

#### ⑤日本語能力試験対策

日本語能力試験の対策として模擬問題を多く載せている。300字の漢字を用いた漢字語のほとんどをN5、N4の各レベルにおいて練習問題として提出した。試験対策としても、大いに活用できる。

### 2-3. 「ワークブック」の対象

上述のとおり、文脈を意識した「ワークブック」には、まとまった文章が多く出てくる。そのため、それらの問題を解くには、ある程度の語彙の力も不可欠である。本文中の語彙、文型はすべて初級日本語<sup>3)</sup>の範囲で収め、それ以外のものには対訳をつけている。「ワークブック」は2016年9月の時点で4言語に対応しており、英語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語の訳がついている。「メイン教材」はゼロビギナーでも使用可能なものに対して、「ワークブック」は初級の日本語の基礎力を備えた学習者を対象としている。

また、「メイン教材」「ワークブック」は、いずれも教室利用、自習利用の両方が可能であり、モジュール式に（どの回からでも）利用できる。ただし、前の回までに出てくる漢字や漢字語は、既習とみなし、基本的にルビは振っていない。さて、次章では、「ワークブック」に載せられている練習問題の具体例とそれぞれのねらいを見ていく。

## 3. 練習問題の紹介

本章では「ワークブック」の具体的な練習問題を紹介する。練習問題は①〔概念〕、②〔字形〕、③〔読み〕、④〔書き〕、⑤〔書き取り〕、⑥〔読解〕、⑦〔産出〕、⑧〔日本語能力試験対策〕の8つにカテゴライズされる。順に具体例とともにねらいを解説する。

#### ①〔概念〕

概念によって漢字を整理する問題である。漢字の字形と概念をイラストにより結び付けたり、同義、類義、あるいは反義的な概念で複数の漢字を整理したりする。また、既習の

漢字を含む漢字語の意味を類推する練習も行う。漢字を個々に覚えるのではなく、概念でまとめることにより、記憶の促進や意味を類推する力の向上を目指す。

図2は、イラストを見て想起される概念を学習した漢字を用いて書くという問題である。漢字の読みを覚えていなくても概念と字形を一致させることができれば解くことができる。

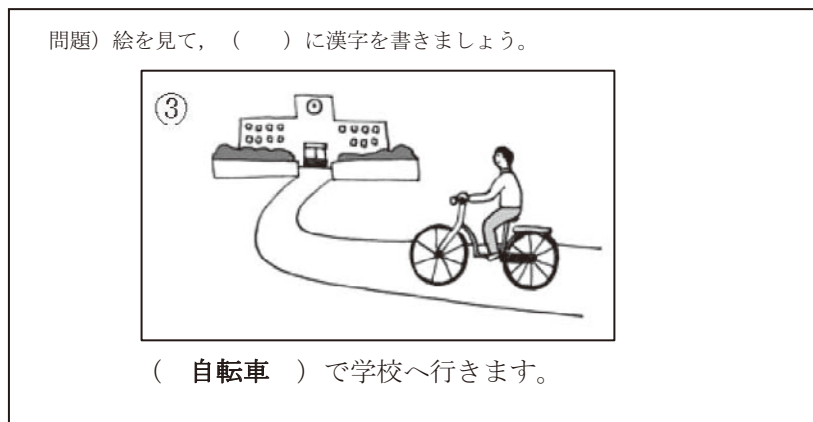


図2 イラストによって想起される概念を漢字で書く問題例  
 (『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』p.80)

図3は学習した複数の漢字を「時」「動作」「家族」の概念で整理する問題の例である。他にも、数字、自然、顔、体、位置、曜日、動物などのグループに分ける練習がある。漢字の読み・書きいづれかができなくても問題を解くことができる。

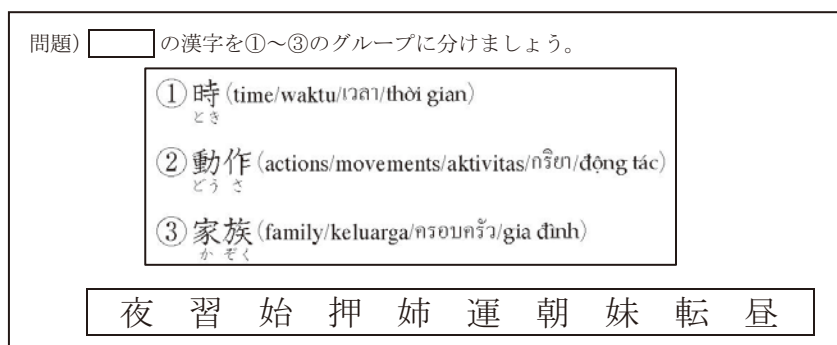


図3 概念で漢字を整理する問題例  
 (『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』p.80)

図4は学習した漢字を含む漢字語を見て、意味を類推する問題の例である。「昼寝」のうち「昼」は既習だが、「寝」は未習だが、選択肢の中から、昼と関係のある「to have a nap 昼寝する」を選ぶことは可能である。未習漢字を含む漢字語であっても、語の意味を類推する力を伸ばすことが期待できる。

問題) 次のことばの意味を考えて, a.~d.のなかから選びましょう。

① 昼寝(する) ( ) <small>ひるね</small>	a. to have a nap / tidur siang / นอนกลางวัน / ngủ trưa
② 転校(する) ( ) <small>てんこう</small>	b. to check the taste / menciicipi / ชิม / nếm
③ 練習(する) ( ) <small>れんしゅう</small>	c. to practice / berlatih / ฝึกซ้อม / luyện tập
④ 味見(する) ( ) <small>あじみ</small>	d. to change one's school / pindah sekolah / ย้ายโรงเรียน / chuyển trường

図4 意味を類推する問題例  
 (『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』 p.80)

② [字形]

正しい字形を選択する問題である。字体は一定の具体的な形状を持たない、抽象的な概念である。文字として認識できないものは漢字として認識されず、その役割を果たせない場合もある。そのため、図5のように4つの手書きの漢字のバリエーションから最も適切な字形を選択する問題を用意し、字形に注意を払う機会とした。とめ、はらいなどをどの程度教えるかなどは教師の教育観によるところも大きい。細部まで丁寧に学習したい学習者や手書きの文字が読み手に与える印象の大きさを考慮して問題に加えた。

問題) 1.~4.のなかで, いちばんいいものを選びましょう。

① <u>あさ</u> ( )	1. 朝	2. 朝	3. 臍	4. 朝
② <u>ひる</u> ( )	1. 昼	2. 昼	3. 昼	4. 眉
③ <u>つよい</u> ( )	1. 強	2. 强	3. 3強	4. 弱強

図5 字形を選択する問題の例  
 (『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』 p.81)

③ [読み]

正しい読み方を考えたり、整理したりする問題である。漢字学習の困難な点として音読み、訓読み、熟字訓など複数の読み方がることが挙げられる。学習者の負担を考慮し、必要な読みを優先して覚えることも可能であるが、学習する漢字にどのような読みがあるかを一通り整理することは学習者の将来のためにも重要である。と考える。「ワークブック」では読みが複数あるものについて丁寧に整理を行う。熟字訓のような特別な読みには図6の問題⑬「風邪」にあるように記号「\*」を添えて注意を促してある。また、未習漢字にはルビが振ってある。なお、出題される漢字の読みについては「メイン教材」で扱ったものであるため、「メイン教材」を参照しながら問題を解くことも可能である。図7は「メイン教材」の164ページにあたるが、このページでは以下のように「風」を用いた語の訳付きの一覧を見ることができる。

問題) \_\_\_\_\_ の読み方を書きましょう。難しいときは、本冊 p.164 を見ましょう。

[風] ⑫今日は 風が 強いです。

⑬\*風邪を 引いて あたまが いたいです。

⑭ミンさんは 洋風の いえに すんでいます。

⑮お風呂に 入ります。

図6 読みの問題例  
 (『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』p.81)

<b>156</b> 3 風 (9) wind / 바람 [중] / vento / viento	風 ㉔	かぜ	kaze	wind / 바람 / viento / viento
	風邪 ㉔	かぜ	kaze	a cold / 감기 / gripe / resfriado
	台風 ㉔	たいふう	taifu	typhoon / 태풍 / tifão / tifón
	洋風 ㉔	ようふう	yōfu	western style / 서양풍 / estilo occidental / estilo occidental
	お風呂 ㉔	おふろ	ofuro	bath, bathtub / 목욕, 욕조 / banheira / baño de tina

図7 読みの問題に対応した「メイン教材」  
 (『ストーリーで覚える漢字300 [英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語版]』p.164)

④ [書き]

正しい書き方を考えたり、送り仮名について考えたりする問題である。IT 利用の機会も増え、漢字を手書きする機会は以前より減少したとはいえ、漢字を書く機会が全くなくなったとは言えない。図8、図9のように書きの問題では主に短文中の語句の一部あるいは全部を漢字にすることを目的としている。名詞やスル動詞の語幹など漢字のみで書けるもの(図8)と、動詞や形容詞など送り仮名が必要なもの(図9)を分け、漢字の持つ品詞性や送り仮名へ注意を促した。初級で扱わないような語句については記号「\*」を付け、欄外に対訳を付けた。

問題) \_\_\_\_\_ のことばを漢字で書きましょう。

④ \*たこやきは どんな あじですか。

図8 書きの問題例1  
 (『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』p.82)

問題) \_\_\_\_\_ のことばを漢字とひらがなで書きましょう。

⑥ かるい にもつを はこびます。

図9 書きの問題例2  
 (『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』p.82)

⑤〔書き取り〕

音声を聞き、漢字を選択したり、書き取ったりする問題である。漢字の字形と字義の結び付きを問う問題は多いが、そこに音声結び付いた漢字練習の形態は多いとは言えない。音声を聞いて漢字を書き取る技術は、例えば大学生であれば講義では必須の技術といえる。また漢字と音が結び付いていないことが原因で、パソコンなどで文章を書く際に漢字変換ができないような問題に直面することもある。本練習では付属の音声を利用して、音声に照らして正しい漢字を選択したり、書き取ったりする、といった他の漢字教材ではあまり見られないユニークな練習を行う。音声は単文（図 10）や、ある程度長さのある独話や会話（図 11）など様々な形式を用意した。特に独話や会話では登場人物に設定があり、文脈の中で漢字を書き取る練習が行えるのが特徴である。音声は、mp3 形式のものを専用のホームページから無料でダウンロードすることができる。学習者は身近なスマートフォンなどでも再生が可能であり、教師は一括ダウンロードしたものを CD 化して教室で用いることができる。

問題) 音声を聞いて適当な漢字を ( ) から選んで○を書きましょう。

**29** ① (自転車・自動車)で 買いものに 行きます。

図 10 音声を聞いて漢字を選択する問題例  
（『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』p.83）

問題) 音声を聞いて ( ) に漢字を書きましょう。

**31** トム：山田さんは \*すもうが 好きですか。  
山田：はい、好きです。  
トム：じゃあ、ちょっと 聞きたいんですが、すもうで 一ばん 上手で  
a.( ) 人を 何と 言いますか。

(以下略)

図 11 音声を聞いて漢字を書く問題例  
（『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』p.83）

⑥〔読解〕

まとまった文章を読み、質問に答える問題である。漢字学習の目的は漢字を知識として覚えることではなく、覚えた漢字を通して、内容を理解したり、伝達したりする運用力をつけることである。本練習では学習した漢字を含む文章を読んで、その漢字の読みや書きを示すだけでなく、文章の内容が漢字を通して理解できるかを問うているのが特徴である。文章を理解するためには語彙や統語的な力も求められるが、初級の学習者が理解できる語句や文型を選択し、難しい表現には訳を付けるなど、漢字以外の負担を軽くするような工夫をした。図 12 は、主人公トムの日記の一部である。この日記の後に、「引越した

人物は誰か」「何時に始めたか」「そばの食べ方を教えたのは誰か」などの問いがある。この日記をはじめ「ワークブック」全体を通して、トムを囲む登場人物の一年間の物語が読解問題として提示される。読み・書きの練習だけでなく、このように漢字を文脈の中で理解する運用力を高めることができる。

問題) トムさんの日記を読んで、①～④の質問に答えましょう。

**8月2日 日曜日**

友だちの パクさんが となりの a.市に b.引っ越しを しました。朝 早く 起きて ホアンさんたちと 引っ越しを 手つだいました。九時に 手つだいを c.始めました。パクさんは えいがが d.好きです。すから へやに えいがの DVDが たくさん ありました。DVD 一まいは e.軽いですが はこの 中に たくさん ありましたから f.運ぶとき 少し g.重かったです。h.お昼に 山田さんが “そばを食べよう” と言いました。わたしと ホアンさんは はじめて そばを食べました。山田さんに そばの 食べかたを i.習いました。日本で

(以下略)

図 12 読解の問題例の一部  
 (『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』 p.84)

⑦ [産出]

質問に対する自分の答えを漢字を用いて書く問題である。自分が表現したいことを学習した漢字でどのように表現するかを考える力を伸ばすことを目的とした練習である (図 13)。教室で本教材を使う場合は、産出された文や文章を他の学習者と共有したり、他者に質問した内容をまとめたりするなど [受容] や [やりとり] の練習も可能となる。なお、自習の場合は、自分が産出したものが他者によって検討される機会が少ないであろうことを配慮し、産出問題には解答例 (図 14) を複数つけることで対応した。自分の文脈で漢字運用力を伸ばす本教材の特徴的な練習問題の一つである。

a. 好きな 季節は いつですか。どうしてですか。家族や 友だちにも インタビューして みましょう。

〈ヒント〉春 夏 秋 冬 寒い 暑い など

図 13 産出の問題例  
 (『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』 p.117)



**れい** 私は夏が好きです。夏は暑いですが、海でおよぐことができます。夏の山も好きです。風が気持ちいいです。花火を見ることができます。夏休みにゆっくり休んだり、川やプールであそんだりすることができます。弟も夏が好きだそうです。キャンプをして、BBQ(バーベキュー)で肉を食べたいと言いました。友だちは春が好きだそうです。あたたかくて花がきれいですからと言いました。

図 14 産出の解答例  
（『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』p.117）

⑧〔日本語能力試験対策〕

日本語能力試験の対策を目的とした練習問題である。試験は 2010 年に改訂されたが、改訂後は出題基準が公開されていないため、旧試験の出題基準と『日本語能力試験公式問題集』などの出題傾向を分析し、N5、N4 レベルに相当する模擬問題を作成した。レベルと読み・書きの問題が分けられているため、学習を必要とする箇所にポイントを絞って練習することが可能である。

日本語能力試験の出題傾向を分析した結果、読み問題には、「学校」の読みとして「がっこう」「がっこ」「がこう」など長音、促音などの特殊音素の有無に関する問題や、音訓を入れ替えた問題などが多い。また、「あに・おとうと・あね・いもうと」のような概念が似ている語が選択肢に並んでいる問題もある。書き問題には、実際には存在しない字を混ぜて、正しい字形を問う問題や同音異字を混ぜた問題、送り仮名を問う問題などがある。以上のような傾向を踏まえて、試験の模擬問題を作成した。対策としては読み・書きの問題を特に取り上げたが、N4 レベル以上になると漢字を含む文章を理解する運用能力が求められる。その練習については⑥にあるような読解問題などで対応している。

**N4** ① しけんが あるので 英語を べんきょうして います。  
1 ええご      2 えいご      3 えご      4 いえご

図 15 能力試験対策の読み問題例  
（『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』p.134）

**N5** ① あさは パンを たべます。  
1 金べます      2 食べます      3 倉べます      4 食べます

図 16 能力試験対策の書き問題例  
（『ストーリーで覚える漢字 300 ワークブック』p.54）

#### 4. おわりに

ここまで、「ワークブック」の練習問題の具体例とそれぞれのねらいを解説してきた。本教材では、少なくとも8種類の方法で漢字の学習に取り組むことができる。それらの学習のプロセスをよく考えてみると、学習者は学習のなかで、イラストから漢字を想起したり、前後の文脈から漢字（語）や文の意味を類推したり、また、音声と文字情報を結び付けたりと、さまざまな力を活用していることが分かる。本教材は、さまざまな能力を総合的に活用しながら問題解決をすることを助けている。そのため、漢字学習を主眼としながらも、漢字以外のさまざまな力を伸ばす場においても、学習の役に立つと考えられる。

例えば、聴解力を育成したいという場合は、音声のついている練習問題が、日本語能力試験の対策をしたい場合は、対策問題が役立つだろう。担当のクラスで、話し合いの時間を設けたいという場合は、産出問題の内容を話し合いのテーマにすることが可能である。

「買うより借りたほうがいいと思うものは何ですか。」「あなたはどのぐらい自分で料理をしますか。ときどき店で買いますか。」など、ディスカッションやインタビュー活動のテーマにもなり得る。すこし大きいプロジェクトのような活動を考える場合は、図13にあるような、好きな季節とその理由を聞くというアンケート活動を行うことも可能である。

漢字学習というと、読み練習と書き練習を多く提出し、学習方法は単調になりがちである。しかし、漢字学習には、多様なアプローチが可能である。本教材を使用することで、学習者がさまざまな力と漢字を結びつけながら、日本語の表記と音、用法を学び、語の理解を広げ、それぞれの表現の幅を広げることを期待する。

#### 注

- 1) 初級漢字とは、以前公開されていた日本語能力試験の旧3級（現在のN4）相当の300字のことを指す。国際交流基金・日本国際教育協会編（2006）『日本語能力試験出題基準 [改訂版]』（凡人社）を参考にした。
- 2) 漢字の字源については、白川静（2003）『常用字解』（平凡社）を参照した。そこに書かれている字形の成り立ちが難しい場合や、現在使われている字形とかけ離れている場合は、ボイクマン・渡辺ほか、既刊の漢字教材のストーリーと重ならないような形でオリジナルのストーリーを創作した。
- 3) 初級日本語の語彙、文型は、スリーエーネットワーク編（2012）『みんなのにほんご 初級Ⅰ 第2版 本冊』（スリーエーネットワーク）、スリーエーネットワーク編（2013）『みんなのにほんご 初級Ⅱ 第2版 本冊』（スリーエーネットワーク）で扱われているか否かという基準で判断した。

#### 引用文献

- ボイクマン 総子・渡辺陽子・倉持和菜（2008）『ストーリーで覚える漢字300 英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版』高橋秀雄（監修）くろしお出版
- ボイクマン 総子・渡辺陽子・倉持和菜（2008）『ストーリーで覚える漢字300 英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語訳版』高橋秀雄（監修）くろしお出版
- 岩崎陽子・古賀裕基（2015）『ストーリーで覚える漢字300 ワークブック』くろしお出版

（いわさき ようこ，元早稲田大学日本語教育研究センター）

（こが ひろき，早稲田大学日本語教育研究センター）